

育児制度充実で 生産性がアップ

徳島市 セミナーで事例報告

企業の子育て環境充実を図る「はぐくみ支援実践セミナー」(徳島県、県労働者福祉協議会主催)が25日、徳島市のふれあい健康館であった。企業経営者ら約50人が参加し、男女共に働き続けられる職場環境づくりについて理解を深めた。

厚生労働省の子育てサポート企業(くるみんマーク取得企業)認定や、県のはぐくみ支援企業表彰を受けた企業

の経営者や従業員が事例報告した。

西精工(徳島市)は共に勤続20年以上の夫婦が発表。育児休暇が延長されたり、出退勤時間が幅広く選べるようになったりと支援制度が充実し、各部署が連携して休暇を取りやすくしていることを挙げ「肩身の狭い思いをすることが少なくなつた。助け合うことが成長や生産性の向上につながる」と話した。



企業での子育て支援事例を紹介する担当者—徳島市のふれあい健康館

NDK(石井町)と港産業(徳島市)の経営者は「技術者の養成には時間がかかり、経営側としても辞めてほしくない。産休、育休はキャリアアップの妨げにならない」「若者は働きやすさを重視している。戦力になった人が働き続けやすい環境をつくれれば、採用率も上がる」などと述べた。(佐藤陽香)